

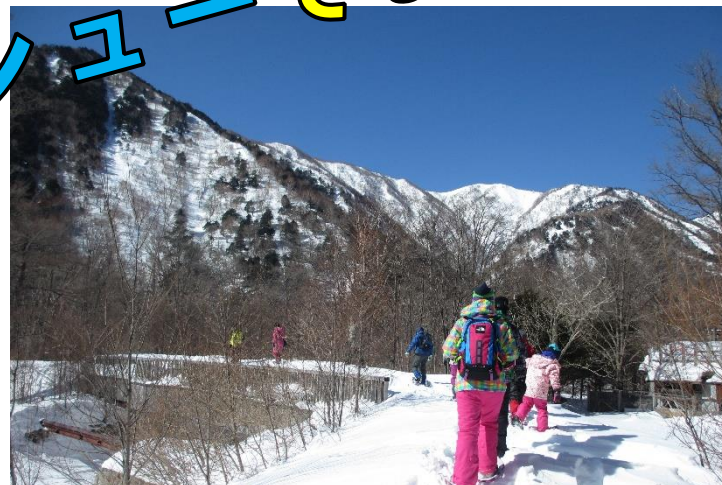
奥日光でスノーシューを始めよう！



積雪量が多いけど豪雪は少ない、そんな奥日光はスノーシューを始めるのに最適な環境！
スノーシューコース上には目印の看板やリボンがついているから冬山初心者さんも安心～。
本誌に掲載した以外にも、ビジターセンターでは随時冬のイベントを企画予定です。ぜひチェックを！
いろは坂は冬も通れます！！バスも運行します！！スノーシューのレンタルもあります！！
大人も思わずはしゃいでしまう、そんなワクワクがあなたを待っています！



冬はこたつでみかん？



山でスノーシューでしょ！

ビジターセンター開館日・休館日のご案内

12月～1月 9:30～16:30（**平日**休館）

2月～3月 9:30～16:30（**水曜**休館）

奥日光の自然情報誌

楓通信 No.139

発行：自然公園財団日光支部

TEL：0288-62-2461

2019年 12月初旬発行

季刊 無料

次号 2019年3月初旬 発行予定

8 楓通信 "19年12月-2月号

『楓通信』購読料について

「楓通信」133号（平成30年6月発行）より、本誌を無料とさせていただきます。133号以降の新規購読料金は2年単位（発行数8部）で1,000円（送料・手数料・税込）となります。

134号以降にお申込の方にはバックナンバーの送付にて対応させていただきます。

不明点や質問がございましたら、楓通信担当まで連絡くださいますようお願い申し上げます。 TEL：0288-62-2461

奥日光の自然情報誌

楓通信

2019-20 年 No.139

12-2 月号



撮影場所：湯ノ湖（12月）

今号の特集

その① ビジターセンター所長による日光にゆかりのある植物学者と植物たち

その② 皆様に知っておいていただきたい台風19号の爪痕

奥日光歳時記

令和元年 **秋**

紅葉の湯ノ湖



今年は10月に入っても冷え込みが少ない日が続いた。戦場ヶ原の初氷も例年より2週間近く遅かったようだ。更に、東・北日本各地に多大な被害を与えた2つの台風襲来。ビジターセンターには普段の紅葉の問い合わせとともに、多くのお客様から台風被害への心配の声をいただいた。ビジターセンターのスタッフも天候不順による紅葉を気に掛ける毎日だった。

それでも、季節は今までの遅れを取り戻すかのように奥日光を秋色に染めた。例年なら金精峠から始まり徐々に移り変わる紅葉が、湯ノ湖や戦場ヶ原、中禅寺湖など多くの場所で、ほぼ同じ時期に鮮やかに広がった。気候の変動を気にしつつも、今年も一瞬の彩の美しさに陶醉した奥日光の秋だった。

終わりに、この度の台風被害にあわれた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

(日光湯元ビジターセンター スタッフ一同)

日光にゆかりのある植物学者と植物たち (後編)

文：日光湯元ビジターセンター所長 佐藤

今回は、明治初期から多くの国内外の研究者たちが奥日光に訪れ、植物に関する研究を進めてきたことについてお伝えしました。今回はその続編になります。

明治10年(1877年)に東京大学が設立されると、植物学の教育、研究が始まり、前回ご紹介した松村任三、白井光太郎、牧野富太郎などが東京大学植物学教授となりました。

松村任三は明治42年(1909年)に、日光町蓮華石(現、花石町)の東京大学付属日光植物園の設立に尽力しました。白井光太郎は大正4年(1915年)に東京で開催された史跡名勝天然記念物保存会第2回講演会で、「植物学上より観たる日光」と題する講演を行いました。日光の植物相の豊かさとともに、戦場ヶ原の約70種湿原植物を挙げ、植物の宝庫である日光の自然を保護する重要性を指摘しました。牧野富太郎は明治14年(1881年)以来、幾度となく日光に来訪していました。多くの日光産の新種のランを発見し、トラキチランやニョホウチドリなどと名付けています。

このように日本の植物学は、自然豊かな日光をフィールドに、多くの植物学者が植物を採集、分類し発展していったといっても過言ではないでしょう。

例えば、日光にゆかりの名の付く動植物は100種類以上あるといわれています。そのうち代表的な植物には、ニッコウキスゲ、シラネアオイ、センジュガンピ、ユモトマムシグサ、ニッコウアザミなどがあります。

また、学名に日光産を意味する *nikoensis* と学名のつく植物に、サワギク、ヒメシャジン、イチリンソウ、メグスリノキなどがあります。



トラキチラン



ニョホウチドリ



サワギク

Senecio nikoensis



ヒメシャジン

Adenophora nikoensis



イチリンソウ

Anemone nikoensis



メグスリノキ

Acer nikoense

奥日光が、いかに植物学者たちに好まれ、研究が進められてきたのか、お分かりいただけましたでしょうか。植物の名に隠されたエピソードや植物学者の物語などを想像していただくと、植物鑑賞にまた一つ楽しみが増えると思います。

台風19号の爪痕

奥日光の人気ハイキングコース
通行止めの状態が続く。

奥日光のハイキングコースといえば戦場ヶ原ですが、台風の後から未だ、一部区間で通行止めの状態が続いています。

戦場ヶ原自然研究路など一部通行止め 未だ解消されず。被害の現状は？！



①湯川の増水により浮き上がり流された戦場ヶ原の木道

通行止めのことを知りガッカリされる方がたくさんいらっしゃるのですが、なぜ未だ通ることができないのか、被害の現状を知っていただければと思います。

大きく分けると、通行止めになっているのは自然研究路および、小滝（光徳・赤沼分岐）です。写真①は自然研究路の被害の様子です。すぐそばを湯川が流れるため、増水により浮き上がった木道が流され、元の木道の上に乗ってしまいました。川沿いはこのような被害が目立ちます。



②○箇所拡大図

②は①の写真の丸で記した箇所の拡大図です。柵に葉や草が付着しています。つまり、少なくともこの高さまで水位が上昇したということです。普段の様子からは全く想像できません。



③流された木道

③を見ると、木道を支える柱の部分が完全に地面から抜けているのが良く分かります。相当な重量のはずなのですが…。

私が友人にこの写真を見せたところ「これは何？机？」と言われました。戦場ヶ原だといわれても、これが何の写真なのか、ぱっと見ただけでは分からないのです。

写真④は小滝（光徳・赤沼分岐）の被害の様子です。手前に歩道の一部（銀色）が見えていますが、倒木と土砂により完全に押しつぶされてしまいました。本来であれば丸で記した部分まで歩道が続いており、ここを通過して戦場ヶ原へ抜ける、と



いう人気のルートです。写真の箇所は去年も台風による土砂崩れで木道が流され、やっと仮設歩道が完成し開通したばかりでした。

大きな台風の後には必ず被害があると思って欲しい。

台風の後にはハイキングルートの安全確認のため、私達を含め関係機関の者がコースの巡視を行い、倒木の撤去や通行止めの措置をします。朝から作業に入るため、今回のような甚大な被害でなければ、その日のうちに作業を終



④湯滝～戦場ヶ原方面への仮設歩道と土砂、倒木



⑤台風翌日、がれきと濁流で塞がれた湯ノ湖歩道

え、早ければ数時間後には通行可能な状態にします。お客様がいらっしゃる頃にはほぼいつも通りの状態の為なかなかお伝えできませんでしたが、今回の被害の状況をご覧いただくことで「**台風の後には毎回、何かしら被害が出ている**」という事実を、少しでもご理解いただけたらと思います。

ビジターセンターのホームページでは、自然情報だけでなく、歩道状況等も随時、地図付きで掲載しています。今回に限らず台風や大雨などの後は特に、十分に情報収集されてから奥日光へお越しくださいませ。

文・宮城

ビジターセンターの裏方？ヒーロー？！

公園班のお仕事紹介！

次号予告

今号は少々重い話になってしまいましたが、次号では、特に今回のような台風の際に人知れず活躍している、日光湯元ビジターセンター所属、ハイキングコースを守るヒーロー『公園班』の仕事について、この機会に知っていただきたいと思っています！

彼らがビジターセンターでカウンターに立つことは滅多にありませんが、その裏では木道の補修や倒木処理、草刈り、トイレ掃除 etc…土木関係はお任せあれ！彼らの活躍を特集します！

ビジターセンターのイベント

バードウォッチング入門

鳥が見やすい冬こそ始めよう！

1月の土日

(※1月19日を除く)

10:00-12:00

そもそも鳥の種類が分からない…ちょっと暇つぶしに…そんな方も大歓迎！ゆる〜く始めましょう！野鳥好きスタッフがのんびりご案内します〜。防寒対策はお忘れなく！！

【場所】湯元温泉街周辺

参加費 500 円

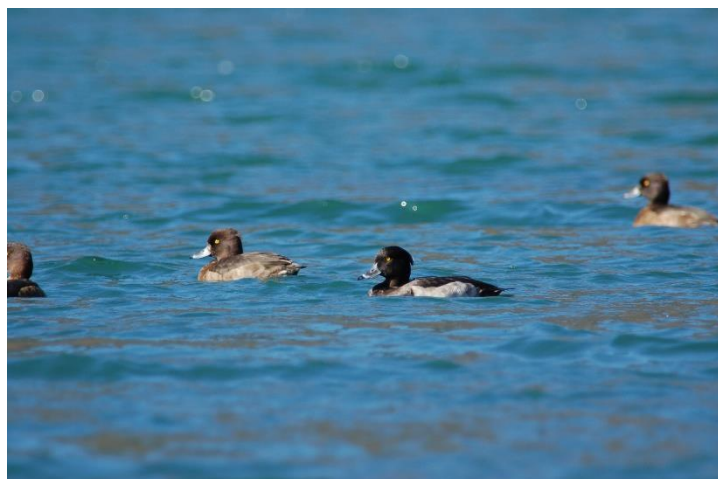
(双眼鏡レンタル代含む、小学生以下無料)

対象：年齢制限なし

集合場所：日光湯元ビジターセンター

定員：10 名程度 先着順 (予約不要)

※鳥の観察がメインになりますのでほとんど動きません！防寒対策は各自で十分に行ってください。



はじめよう！スノーシュー

スノーシュー初心者さん、集まれ〜！！

1月19日

9:30-15:30

豪雪の少ない奥日光はスノーシューを始めるのに最適！座学での講習で冬山や装備について学んだら、いざ白銀のフィールドへ！！さあ始めよう！！

ルート：日光湯元スノーシューコース

参加費 3,000 円

(レンタル代別、昼食代含む)

対象：現地に集合できる中学生以上の方

(15 歳未満は保護者同伴・20 歳未満は親権者の同意必要)

集合場所：日光湯元ビジターセンター (講義受講後フィールドへ)

定員：先着 40 名 (1/13 までに要予約)



『スノーシューイング連盟』と合同で行います。

サクッとご案内プチスノーシューツアー

長距離は自信がない、そんなあなたも大丈夫！

2月9日,23日

10:00-13:00

スノーシュー初心者の方も、冬山はちょっと自信がない方も、奥日光のスノーシューコースのいずれかを3時間でご案内！お気軽にご参加ください！

ルート：日光湯元スノーシューコース
(当日の雪の状況による)

参加費 2,000 円

(レンタル代別途必要)

対象：現地に集合できる中学生以上の方

(15 歳未満は保護者同伴・20 歳未満は親権者の同意必要)

集合場所：日光湯元ビジターセンター

定員：10 名程度 先着順 (予約不要)

持ち物：防水性の靴、防寒着、体温調節可能な服装、飲み物、行動食



動物の痕跡を探そう！アニマルトラッキング

キツネ、タヌキ、テン etc…見分け方も教えちゃいます。

2月22日

10:00-14:00

冬の森には様々な動物の痕跡が！痕跡を辿ると行動もわかる？！静かな森をゆっくり歩いて楽しみながら、動物たちの生活をのぞいてみましょう。

ルート：日光湯元スノーシューコース
近辺 (当日の雪の状況による)

参加費 2,000 円

(レンタル代別途必要)

対象：現地に集合できる中学生以上の方

(15 歳未満は保護者同伴・20 歳未満は親権者の同意必要)

集合場所：日光湯元ビジターセンター

定員：先着 15 名 (要予約)

持ち物：防水性の靴、防寒着、体温調節可能な服装、飲み物、行動食



自然公園財団日光支部

TEL：0288-62-2461

FAX：0288-62-2378

お申込み先

お申込の際、平成 29、30 年実施イベントの参加の有無、氏名・年齢、郵便番号・住所・電話及び当日連絡先、交通手段をお知らせください。(日程や内容が変更になる場合がありますので、予めご了承ください)